



からさきの福祉

令和5年12月号
(第59号)

《発行所》
唐崎学区社会福祉協議会
大津市唐崎二丁目10-1
唐崎市民センター内

会長あいさつ

唐崎学区社会福祉協議会 会長 河本 正雄



2023年5月8日から季節性インフルエンザなどと同じ感染症法に規定される“5類感染症”に移行したコロナウィルス感染症は、

外出自粛を要請すること

はなくなり、感染対策は個人や事業者の判断に委ねられるなど、コロナ前の日常に戻りつつありました。しかし一方では、例年にないスピードでインフルエンザが流行し始め、予防のための手洗い・うがいなど、日常生活のなかで、まだまだ予断を許さない状態が続いています。

当協議会におきましても、感染予防対策を施しつつ、自治連合会をはじめとする唐崎学区各種団体のご協力のもと、令和5年度も事業を実施させていただいております。特に10月1日・2日に実施しました赤い羽根共同募金街頭募金におきましては、滋賀県三日月大三知事・県議会奥村芳正議

長が、唐崎中学校の生徒会のみなさんとともにJR唐崎駅前で募金活動にご協力いただき、昨年度を大きく上回る募金実績となりました。みなさまにご協力いただいた募金は、大津市社会福祉協議会を通じて、赤い羽根共同募金会に送金させていただきました。厚くお礼申し上げます。

今後の事業といたしましては、中学三年生を対象とした「未来サポート教室」小学生を対象とした「書初め大会」そして、各自治会から選出いただいた福祉委員や、学区の皆様と学ぶ「福祉のまちづくり講座」などを予定いたしております。

唐崎学区社会福祉協議会は、今後も地域住民の皆様とともに「人にやさしい福祉のまち唐崎」の一翼を担えるように精進する所存でございます。

皆さま方の更なるご支援・ご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

10月1日フレンドマート唐崎店、10月2日JR唐崎駅・京阪滋賀里駅・京阪穴太駅で実施しました令和5年度赤い羽根共同募金（街頭募金）では、昨年をうわまわる募金額を皆さまにご協力いただき、ありがとうございました。

街頭募金額 **53,503円**



共同募金（街頭募金）のご協力ありがとうございました。

ご存知ですか？ 「いのちのボタン」

緊急時、救急隊員などに必要な情報を知らせるために、医療情報を冷蔵庫で保管する取り組みが「いのちのボタン」です。

ひとり暮らしの高齢者を中心に、健康面への不安を抱えながら在宅生活を送られる方に、いのちのボタンを通して **安心感の確保や地域における声かけや訪問活動の促進、つながりづくりによる地域福祉の充実**を誇っています。



「いのちのボタン」の使い方



- ・ **救急医療情報用紙に自分のことを記入します。**
(名前、緊急連絡先、持病・服薬情報、かかりつけ医など)
- ・ **救急医療情報用紙を丸めてボタン(容器)の中に入れます。**
お薬の説明書など緊急時に役立つと思われるものも入れましょう。
- ・ **「いのちのボタン」を冷蔵庫に入れます。**
ドアのポケットに入れると分かりやすいです。
- ・ **冷蔵庫のドアと玄関の内側にシールを1枚ずつ貼ります。**



「いのちのボタン」があることの目印です。ときどき、「いのちのボタン」の中身を見直しましょう。

主治医は変わっていませんか？ お薬は変わっていませんか？ 緊急連絡先は変わっていませんか？

緊急時、かかりつけ医や持病などの必要な医療情報を冷静に伝えるのは容易ではありません。

自分のため、またご家族の「もしもの時」に備えて、「いのちのボタン」を活用しませんか？

「からさきみまもりねっと」の活動報告

唐崎学区社会福祉協議会と唐崎地区民生委員児童委員協議会の共同事業である「からさきみまもりねっと」は、3年目を迎え、86事業者の皆様の活動のご理解・ご支援をたまわっています。この3年間の間に相談いただいた事例も数件あり、担当民生委員児童委員の見守りに繋がっています。より一層「みまもりの輪」を広げたいと思っております。

なお一層のご協力をお願い申し上げます。

